

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施市町村名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
21220下呂市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	下呂市では、すべての小中学校に学校運営協議会を設置している。また、各学校運営協議会に1名の推進員を委嘱し、推進員が地域と学校をつなぎ、地域学校協働活動と学校運営協議会を一体的に推進している。 しかし、推進員同士の交流の場が少なく、各CS1名で推進員が事業をコーディネートしていくには、負担が大きいという声が上がっている。また、各CSの事業を知りたいという意見から、下呂市の推進員協議会を実施することで、それぞれの地域での活動を参考にできる機会が必要である。	・地域学校協働活動推進員を1学校運営協議会に1名（任期2年）委嘱している。 ・推進員協議会を行い、地域課題の洗い出しや、課題解決に向けての地域を巻き込む仕掛けづくりを実施している。 ・社会教育主事が地域と学校のアドバイザーとなり、地域住民の自治的な活動となる支援を行っている。	・地域学校協働活動推進員の配置形態を変える。現在、1学校運営協議会に1名（任期2年）を、各2名に増員し、学校運営協議会における地域学校協働活動の充実を図る。 ・推進員協議会を年間3回実施し、下呂市内の推進員のネットワークづくり、各地域での地域学校協働活動の交流を行うことで、地域課題を洗い出し、課題解決に向けての地域を巻き込む仕掛けづくりを実施する。 ・社会教育主事が地域と学校のアドバイザーとなり、地域住民の自治的な活動となる支援を行う。	地域、家庭、学校の願いを共有し、役割と責任を明確にすることにより、地域や家庭との連携・協働が進み、学校だけでなく、地域と家庭が手を取り合って、子どもたちに目指す資質・能力を育てることができる。	学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的に推進された事業数の平均	2	件	3	4.1	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	・地域学校協働活動推進員を増員したことによって、各コミュニティ・スクールで、学校や地域との連携がより細やかに行えるようになったため、事業数の増加につながった。 ・地域学校協働活動推進員協議会の第1回と3回は、ワークショップ形式で、各コミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動の実践交流を行った。また、第2回は外部講師を招いて、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進についての研修や、先進事例を学んだ。これらの交流や学びによって、各地域で行っている活動に工夫や改善が見られた。